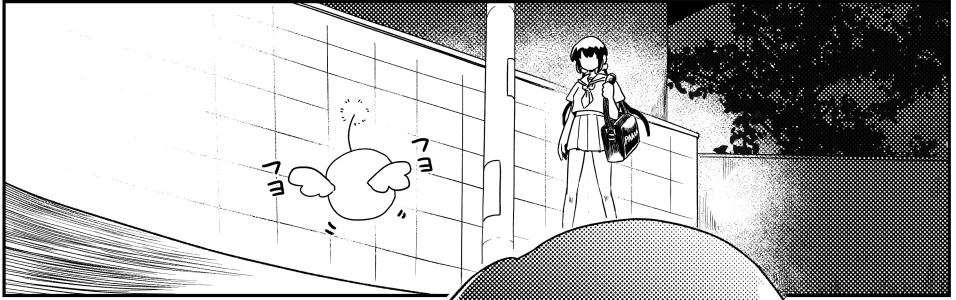
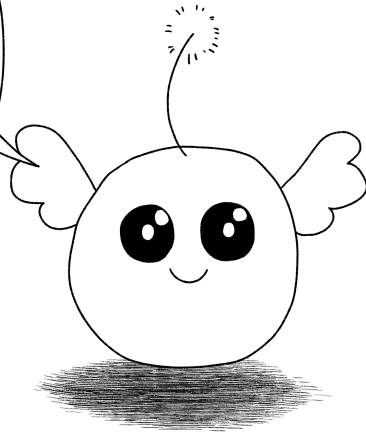


それは
突然現れた

ねえ君！

魔法少女に
なつてくれない？



はあ？
ナニソレ





ホッ

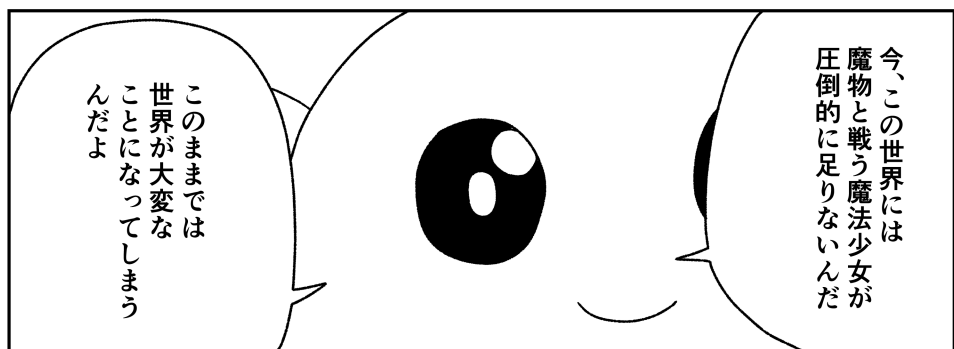
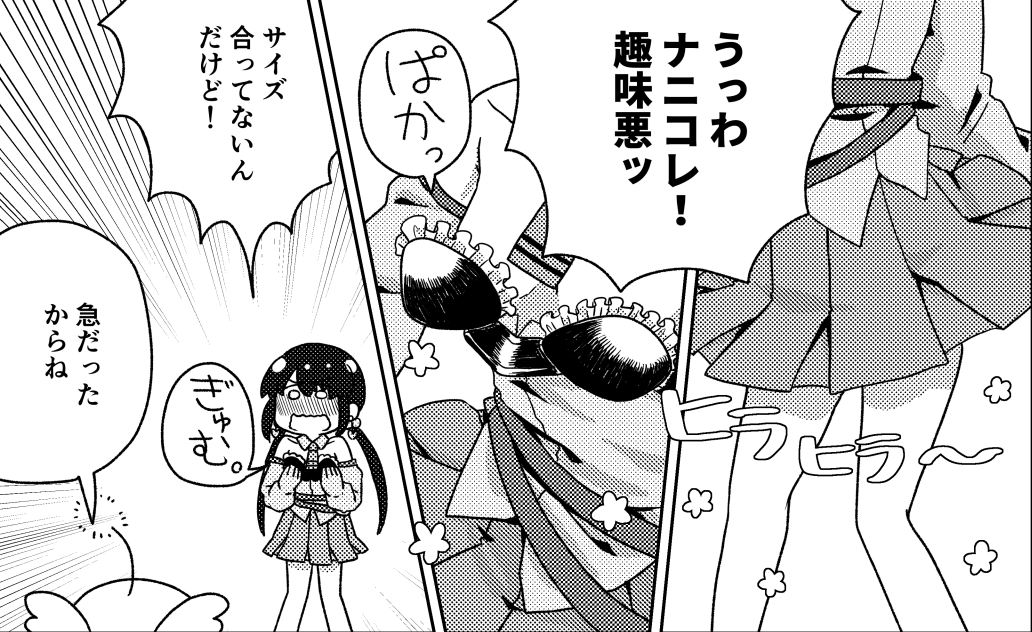
時間ないから
えいっ

ホッ

えっ

ええーっ!?

ホッ





オオ

オオ

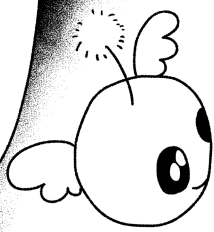
オオ

ようやく
「見えた」かい？

あれが
魔物だよ

え……

あ……

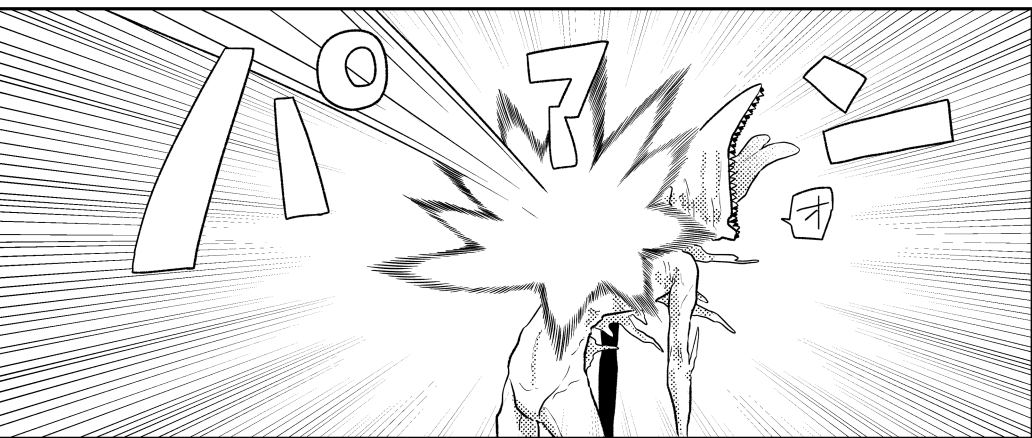


無理無理無理！

あんなのに
勝てないって！

大丈夫

落ち着いて





あれを
倒すのは
ベテランだ

チリン



じゃあアタシ
何もなくて
いいじゃん

やること
あるよ

それも
たくさん

彼女は
大型を狩るのに
忙しいんだ

だから
小型にまで
手が回らない

また来た

かー

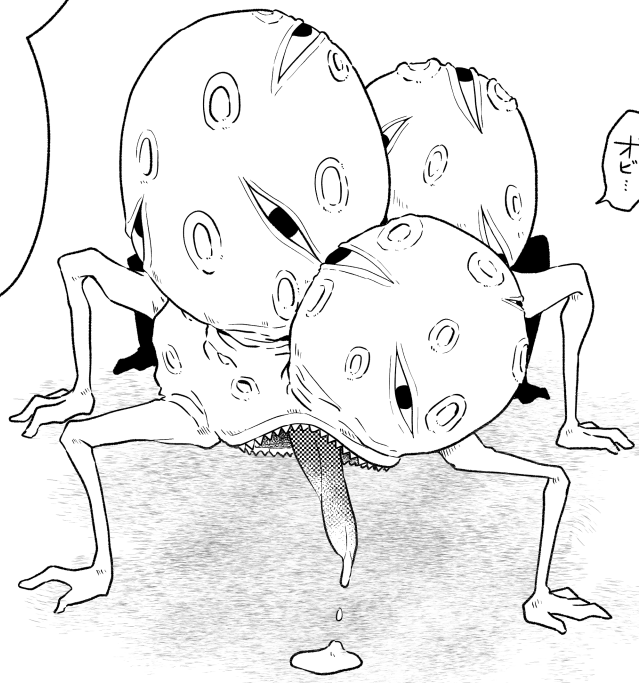
ザッ...

君に
やってほしいのは

小型の
おそうじだよ

オビ...

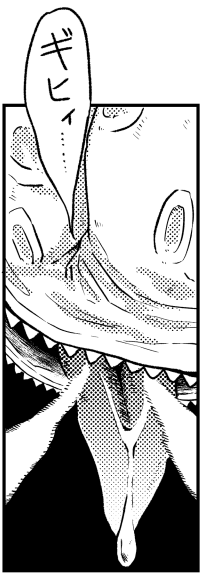
オビ



ザッ...

キッ.....





って
いない!?!
うそオ!?!

コッ...ゼン

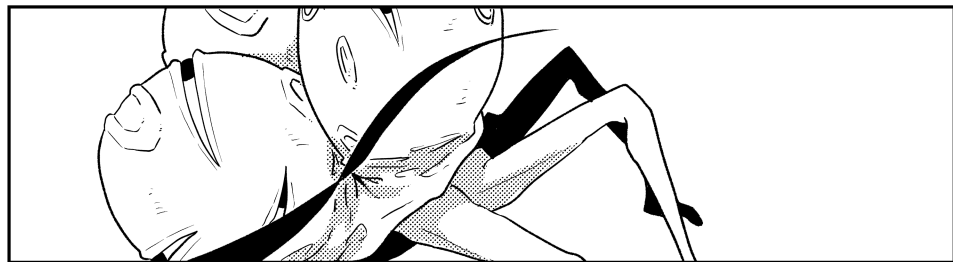
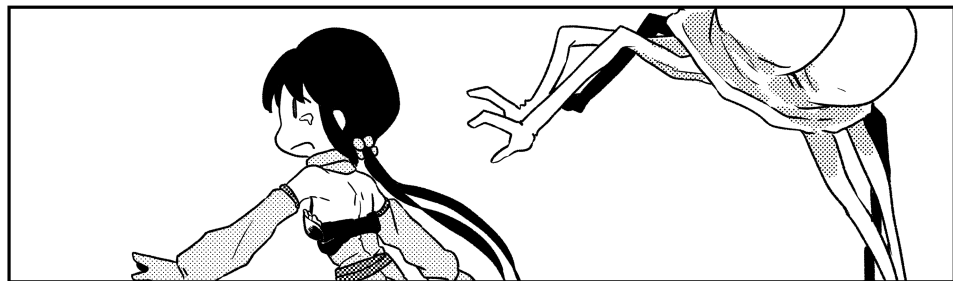


なんか

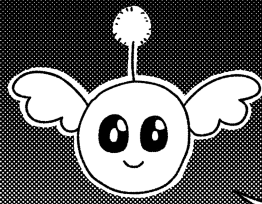


終わった

あっ



君には
魔法の才能はない



けれども
魔法少女になることで
君は他の魔法少女よりも
強靱な体力を得た

魔物は
ある目的をもって
侵攻してくる

その目的さえ果たせれば
魔物は帰ってくれるんだ

君のその体力なら、
魔物に耐えられるよ

ワス

ワス



このまま
食べられちゃうんだ……

パパ……
ママ……

ゴス

ロネ

ゴスツ

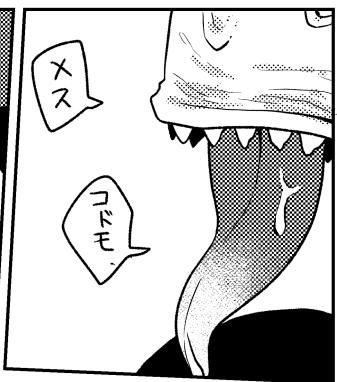
ム
ツ
!?



ズッ

スッ

ビクッ



クス

ゴモ



ツル

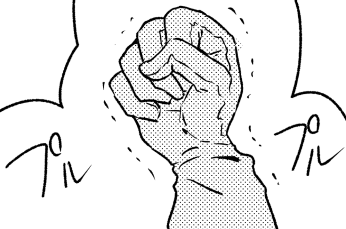
ギンッ

ナニ擦りつけてんの
キモイ!



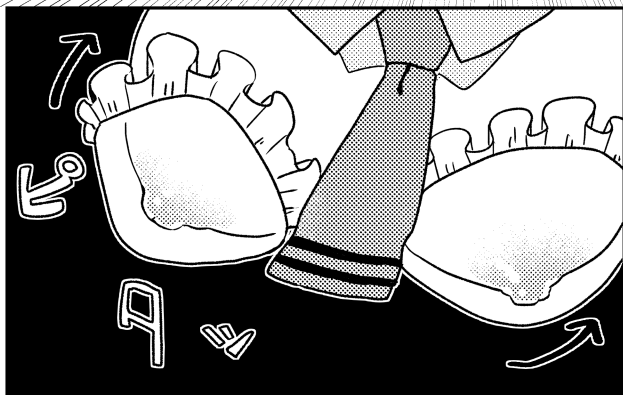
本当に
それだけは
絶対やだ!

こっ、
今度こそ……!!



何か出る!

魔法ッ!



出た……

